

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年 3月15日
作成担当部署 白河市東庁舎事業課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社ひがし振興公社
代表者名 代表取締役 圓谷 光昭
所在地 福島県白河市東釜子字狐内47番地
設立年月日 平成6年9月1日
資本金 1,100万円

【当該地方公共団体の出資額（出資割合）1,000万円（90.9%）】

業務内容 きつねうち温泉健康館、東交流宿泊館、東文化センター、東図書館の施設の維持管理及び運営管理

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社ひがし振興公社（以下「公社」という。）は、きつねうち温泉健康館（東交流宿泊館等）の管理運営を目的に設立され、平成6年度第1期から管理運営を行ってきました。

平成10年度及び11年度には、温泉部門において宿泊館とコテージの増改築を行い、これまでの日帰り入浴に加えて宿泊できるようサービスの拡大を行いました。

また、地理的に、主要道路県道塙・泉崎線、棚倉・矢吹線、白河・石川線に近接しているため、自動車でのアクセスに恵まれており、さらには、総合運動公園や近場のゴルフクラブなどスポーツ施設帰りの誘客に適していたことから、年間来場客数が平均10万人を超える温泉施設となりました。しかしながら、類似施設が近接市町村全てにあることや、施設の老朽化や顧客ニーズへの対応の遅れなどにより、徐々に客足が遠のき、来場者数も減少傾向となっていました。

このため経営面では、平成24年度第19期決算で債務超過に転じ、25年度第20期は、運転資金の不足が生じたため借入（28,000千円）を行ったところです。

経営健全化対策として、平成25年度から26年度にかけて露天風呂の新設や厨房の増築工事のほか、経費節減のためバイオマスボイラーを設置するなど大規模改修を実施し、26年度末にリニューアルオープンを行いました。収支の大幅な改善までには至らず、現在までの債務超過額は29,182千円となっています。

市では、公社取締役会に出席し経営状況報告を受けるとともに必要に応じて経営の健全化に向けた指導を行っており、また、施設の老朽化や利用者の増加対策として、平成24年度に利用者のリピート率向上を基本目標に委員会を設置し検討を行い、25年度に「き

つねうち温泉リニューアル基本構想・計画」を策定し、翌年度に改修、26年度末からリニューアルオープンを行っています。

なお、これまでの主な検討・対策は下記のとおりとなっています。

平成24年度 リニューアル検討委員会設置・開催

25年度 リニューアル基本構想・計画策定

26年度 リニューアル工事の実施

29年度 きつねうち温泉魅力向上委員会の設置・開催

～30年度 shirakawa「美」と「健康」Challenging事業の実施

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

当該施設は、住民の健康増進及び文化活動の場を提供するとともに、人々の交流を促進し、地域の活性化を図ることを目的としており、地域のシンボリック施設として、引き続き必要な施設です。

また、現時点では当該地域において、当該施設を引き受ける民間企業等も見当たらないことから、引き続き経営健全化を図りながら、第三セクターで事業を行うことが適切であると判断しました。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

平成31年度から35年度末までを健全化計画第1期間（5年間）とし、別表1の（4）のとおり年間1,500千円以上の経営利益を目指すこととします。その上で第2期間（10年間）を含む15年間で29,182千円の債務超過の解消を目指すこととします。

具体的には、収支の改善対策として、割引入浴券の販売や、仕入れの見直し等による販売費及び一般管理費の縮減、計画的な情報発信、定期的かつ季節に合わせたイベント開催、顧客のニーズ調査の実施による新たなサービスの創出、ニーズや季節に合わせた食事の提供を行うことなどにより顧客の確保に努めることとします。

また、借入金（平成29年度末残高）20,625千円は、平成38年度までに返済し経営の改善を図ります。併せて、市では経営健全化に向け、引き続き適切に助言・指導を行ってまいります。

別表 1

(1) 入館者数の推移

(単位：人)

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (見込)
入館者	37,879	102,836	103,239	80,795	82,000
宿泊	1,981	4,599	3,818	3,881	4,000
合計	39,860	107,435	107,057	84,676	86,000

(2) 貸借対照表の推移

(単位：千円)

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (見込)
資産の部合計	26,172	25,400	27,476	24,364	24,300
流動資産	15,538	10,493	11,991	10,717	10,700
固定資産	10,634	14,907	15,485	13,647	13,600
負債の部合計	49,923	54,222	57,072	53,546	52,622
流動負債	31,288	31,381	28,510	29,384	29,300
固定負債	18,635	22,841	28,562	24,162	23,322
純資産の部合計	△ 23,751	△ 28,822	△ 29,596	△ 29,182	△ 28,322
資本金	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
利益剰余金	△ 34,751	△ 39,822	△ 40,596	△ 40,182	△ 39,322

(3) 損益計算書の推移

(単位：千円)

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (見込)
経常収益	115,874	200,891	194,112	167,051	165,200
温泉館売上	79,444	183,349	171,134	148,827	143,830
委託料収入	6,296	8,333	19,078	16,866	20,370
受取利息	2	2	1	0	0
受取配当金	17	0	0	0	0
雑収入	30,115	9,207	3,899	1,358	1,000
経常費用	132,260	205,777	194,701	166,452	164,155
売上原価	24,602	51,768	44,847	41,204	39,764
一般管理費	107,214	153,568	149,613	125,039	124,200
営業外費用	444	441	241	209	191
経常利益 (損失)	△ 16,386	△ 4,886	△ 589	599	1,045
特別損失	0	0	0	0	0
法人税等	185	185	185	185	185
当期利益 (損失) (税引後)	△ 16,571	△ 5,071	△ 774	414	860

(4) 経営健全化計画期間の目標

(単位：千円)

年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
経常収益	170,885	170,885	171,885	171,885	171,885
温泉館売上	148,885	148,885	149,885	149,885	149,885
委託料収入	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
受取利息	0	0	0	0	0
受取配当金	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0
経常費用	169,200	169,200	169,700	169,700	169,700
売上原価	43,000	43,000	43,500	43,500	43,500
一般管理費	126,000	126,000	126,000	126,000	126,000
営業外費用	200	200	200	200	200
経常利益 (損失)	1,685	1,685	2,185	2,185	2,185
特別損失	0	0	0	0	0
法人税等	185	185	185	185	185
当期利益 (損失) (税引後)	1,500	1,500	2,000	2,000	2,000